

# 平成18年度に委託する研究開発課題の募集要領

(社)畜産技術協会では、平成18年度に委託する畜産技術に関連した研究開発課題を次のとおり募集(平成17年度内に募集、審査を実施)します。

## 1. 対象課題

「食料・農業・農村基本法」により国が定める畜産に関連する各種の計画や、目標に対応し、食料の自給率向上、安定供給及び農業の持続的発展、農村振興に資する次のような目的・目標の課題。

- 1) 畜産の生産性向上
- 2) 高品質・安全で特色ある畜産物の生産
- 3) 環境にやさしい畜産
- 4) ゆとりある安定的な畜産

## 2. 委託の金額及び期間

原則として、1課題につき2年間の総額で500万円以内(単年度の場合は250万円以内)とします。

委託契約・委託費の交付は単年度毎に行い、当協会内の「審査委員会」の中間評価及び課題担当者の自己評価により、評価し得る成果が得られる見込みがあると判定された場合には、次年度分の委託を継続するものといたします。

## 3. 委託の条件

- 1) 委託する課題の担当者の所属は、大学、独立行政法人試験研究機関、公立試験研究機関、民間企業、団体等としますが、委託契約等は、当協会と担当者が所属する機関の代表者との間で締結します。
- 2) 委託した当該年度毎に、所定の報告書を当協会あてご提出いただきます。
- 3) 委託終了後学会誌等に、得られた成果を当協会からの支援によったことを記載した論文等により公表することといたします。なお、課題の性格によっては、その成果がマス・メディアに取り上げられる等により広報あるいは商品として発売されることを条件といたします。
- 4) 他の公的機関等が募集する同種のものへ応募している場合、あるいは既に外部から同一課題で委託を受けている場合は、委託できません。
- 5) この資金により特許権等を取得し、当該特許により収益を得た場合は、その一部を納付していただくことがあります。
- 6) 1点20万円以上の備品を購入することはできません。20万円を超える金額の設備・機器等を使用する場合は、リース、レンタルにて取り扱うことといたします。  
また、設備・機器の設置を目的とした研究開発課題については、委託の対象とはいたしません。

## 4. 応募方法

別紙様式により平成17年12月9日(金)[当協会必着]までに当協会研究開発第1部あて必ず郵便にてお申込み下さい(ファクス及び電子メールでの受付はいたしません)。

## 5. 応募課題の審査方法

当協会内部で一次評価を行った上、「審査委員会」の審査を経て選定します。選考は提出書類によりますが、必要に応じ現地調査等を行います。

審査結果は、平成18年3月上旬頃を目処に応募者本人あて直接ご連絡いたしますが、ご応募いただいた書類等の返却はいたしません。

## 6. 採択された場合の手続き等

採択することが内定した研究開発課題につきましては、当協会が定める委託等実施要領の規程により、平成17年度中に事業実施計画書のご提出をいただき、平成18年4月以降に委託契約の締結・委託費の交付等事務手続きを行うことといたしております。

採択課題名等は、原則として契約締結・委託費交付後に公表いたします。

## 7. 成果の報告義務等

1) 契約した委託当該年度末に、当協会の定める様式による実績報告書を提出していただきます。

2) 実績報告書には、次のものを添付していただきます。

① 各経費ごとに取りまとめた経費の支出に係る証拠書類（請求書、領収書等）の（写）。

② 研究科題名、研究の目的、研究方法、成果、畜産業への寄与・貢献、公表方法等について分かりやすく簡潔に取りまとめた報告書及び当協会の様式による自己評価表を提出していただきます。

なお、継続課題については、この報告書を次年度委託の評価資料とします。

3) 委託の成果についてご説明していただくために、当協会が開催する評価委員会等へのご出席を求めることがあります。

4) 委託の全期間終了後に、学会誌等に、得られた成果を当協会からの委託に依ったことを記載した原著論文等により公表することといたします。

課題の性格によっては、その成果がマス・メディアに取り上げられる等により広報され、あるいは商品として発売されることといたします。

5) 必要が認められた場合に、課題の実施、成果取まとめ、公表等に関して当協会から助言・指導を行うこととし、そのためのコンサルタント、助言者を派遣することがあります。

【この応募要領に関するお問い合わせ先】

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9  
社団法人 畜産技術協会 研究開発第一部  
担当 福川  
Tel : 03-3836-2301 Fax : 03-3836-2302  
E-mail : jlta\_3b@k2.dion.ne.jp  
ホームページアドレス : <http://jlta.lin.go.jp/>

受付番号 17-	1)	3)	牛、豚、鶏、馬、羊、実験動物、その他			
受付年月日 17. . .	2)	4)	共通、畜産経営( )			

畜産技術協会が募集する平成18年度委託研究開発課題への  
応募課題の概要

(平成17年 月 日 作成)

1. 課題名	キーワード ( )
2. 課題実施の担当者の氏名 年齢 (生年月日)	歳 ( 年 月 日生)
3. 上記の者の所属機関等の名称 研究室・部課・役職名	
4. 連絡先  住所 (〒) 電話番号 FAX Eメールアドレス	
5. 課題の概要          分野(育種・繁殖・遺伝子関連・生理・管理・環境・栄養・飼養・飼料・畜産物・家畜衛生・その他の技術分野)	
6. 課題設定の背景          	
7. 課題実施の目的          	
8. 期待される成果と活用面          	

<p>9. 具体的な応募内容</p>
<p>10. 既往の関連成果</p>
<p>11. 応募する課題について希望する委託金額と内訳の概要 〔単年度 千円× 年間、合計 千円〕</p>
<p>12. 他の機関・研究者との協力、共同研究等が必要な場合 〔必要な理由・分担関係〕</p> <p>〔共同研究機関名・研究者名〕</p>
<p>13. その他</p>

## 「応募様式の概要」の記入について

(社) 畜産技術協会

1. 別紙「応募課題の概要」の様式により作成して下さい。審査はこの概要の内容に基づいて行われますので、専門以外の人でも専門分野以外の人でも理解できるように、また簡潔にお願いします。  
各項目へのご記入については、一般的でない専門用語はなるべく日本語とし、やむを得ない場合は解説を付けて下さい。
2. 様式の各項目間の字数配分、活字の大きさは適宜変更していただいて差し支えませんが、必ずA4版2枚に納めて下さい。
3. この応募に記載される情報、知見等の知的所有権については、十分配慮いたしますが、新規性、独創性に係る部分につきましては、抽象的な表現にとどめ、原著報告、特許申請等を記載されるようお願いいたします。
4. 関連文献、資料等は、今回添付していただく必要はありません。必要があれば委託課題選考の過程でご提出をお願いします。

各項目について、特に次の点の記入をお願いいたします。

- 1) 項目5：  
分野は応募者自身で選択して○で囲んで下さい。
- 2) 項目6：  
課題設定の背景；候補課題のわが国の畜産業、畜産技術との係わりについて具体的に記述して下さい。
- 3) 項目8：  
期待される成果と活用面；わが国の畜産業への寄与と貢献度について具体的に記述して下さい。
- 4) 項目9：  
研究・実験・開発計画をお示し下さい。複数年次に及ぶ場合は、年次計画をお示し下さい。  
すでに実施されている課題の継続部分について新たに応募される場合には、これまでの成果と応募課題で実施される部分が明確になるように記述して下さい。  
また、同一課題内容について、他の公的機関等と重複して委託することはできませんので、この委託により実施される部分が明瞭になるように記入して下さい。
- 5) 項目10：(既往の関連成果)  
応募課題に関連する応募者の最近の原著報告(誌名、著者名、課題名)、特許(番号)等を記入して下さい。
- 6) 項目11：  
希望金額を〔 〕内に記入して下さい。その上で、内訳の概要を研究開発費(資材、消耗品、賃金、旅費、等)、備品費(20万円以下。高額器械をリース・レンタルで利用することは可能です)、研究員費に分けてお示し下さい。
- 7) 項目12：(他との協力・共同)  
この課題実施について共同研究等が必要であれば、必要な理由・分担関係、共同研究等の相手方等(予定を含む)について記入して下さい。